

花緑センターだより

(公財) 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

令和5年3月 64号

自然と建築の融合

第4回 「庭そうじの芸術性と手ぼうき」

武庫川女子大学 建築学部 景観建築学科 教授 曾和 治好

大学時代に私は京都で造園学を学びました。そこで紹介していただいた庭師のアルバイトは驚きの連続でした。まず庭そうじの体験が鮮烈でした。「手ぼうき」という小さな竹製の箒（ほうき）を使って庭をそうじすると、スギゴケが絨毯のように綺麗になります。苔に頬ずりをしたくなります。「そうじは単純労働」と考えていた不勉強な私には衝撃的でした。道具、技術、段取り、分業、考え方、教養。どれを取っても庭師のそうじ技術には洗練された芸術性が有ったのです。「神は細部に宿る」。優れた芸術は細部こそ素晴らしいという意味です。日本の文化・芸術を代表する桂離宮庭園や金閣寺庭園などでは、建築・庭園が融合しています。小さな木の根元や、苔、飛石、洗砂利、園路など、隅々まで心を込めてそうじすることで、建築と庭が一体化し、美しい景観が際立ちます。このように、芸術的とまで言える細部への気遣いが、長い時間をかけて受け継がれ、美しい景観が育まれたのです。

手ぼうきは主に京都の庭師によって使われる25cm~35cm程度の長さの竹ぼうきです。庭掃除の仕上げに使われます。雨の日などに庭師は、乾燥した竹の小枝をたばねて、手ぼうきを自作していました。竹の枝を束ねて、節をそろえ、末を切り取る。こんなシンプルな作業で手ぼうきが完成します。長さや

太さ、硬さなど、自身の手になじむ手ぼうきをつくることができます。しかも手ぼうき自体が美しい。

素晴らしいとは思いませんか？私は日本の各地で手ぼうきや庭の芸術性についてレクチャーし、さら

に手ぼうきを実際に作るワークショップを開催してきました。手ぼうきワークショップの参加者はマイ手ぼうきをつくって、すぐに自分の身の回りを掃除しようと思いました。

ボランティア活動やオープンガーデンなど、都市環境を豊かにする緑化活動に取り組んでおられる皆様は、後片づけやそうじの作業に精通しておられる方が多いと思います。通常は、竹ぼうきや熊手、プラスチックの箕を使ったそうじが一般的でしょう。そうじを芸術的体験として楽しみ、また緑化活動を通して建築物や庭園が一体となった景観文化をより深く育むために、ぜひ皆さんも、竹の小枝を用意して、マイ手ぼうきを作ってみませんか？

Rediscovery and Innovation of Hand Brooms by Japanese Art and Design
SOWA Haruyoshi 1), HIRAI Yukiteru 2), KAWASAKI Yasuhiro 3), TABATA Satoru 4), FUJII Miyuki 5)



手ぼうきの穂



自作の手ぼうき

Abstract

The broom, a small hand broom made from dried bamboo branches, is mainly used at the final stage of cleaning procedure of Japanese traditional gardens in Kyoto. Practiced by garden artists, generally called "hojishi" in the past, it has been using the small hand broom concept as a rich culture to sustain garden beauty.

Through the educational activities of our project for the International school of Garden and Landscape (IGL), we are trying to rediscover hand broom in Kyoto City, as an living bamboo broom regeneration in the past, to inherit the wisdom and of Garden Practitioner, Japan. In the context of earth in IGL, we have arranged an educational program to make "the broom" following the traditional practices using the bamboo branches in many cities in Japan.

In winter, the bamboo are cut from abandoned bamboo forest in Kyoto, and dried in the building of elementary school, which was closed. The hand broom of the education program are produced by hand of neighborhood farmers around the school. Over 400 people watched the program of making hand broom, through the educational activities of these years.

1. Hand brooms
Generally, "the hand broom" is called "hoji" in the past. It is made from dried bamboo branches. A deep meaning is hidden in Japanese culture in this tool against the simplicity of the appearance. The tool for sweeping a garden is the most important tools to maintain the beauty of traditional garden which developed by garden artists in Kyoto City.

2. Hand broom using the hand broom
From 2011, IGL started on the basis of abandoned bamboo forest and started an educational program for environmental education activity from the field of art and design. The hand broom is introduced from the bamboo branches produced nearby in Kyoto. This is spreading the local experience of IGL's earth design value. With the broom, all "hand broom" activities are developed in Kyoto in Japan. A program manual for the activities are developed by design school.

3. Designing new hand brooms
The program for the hand broom "hand broom" that we produced as a response to the new possibility of the hand broom. Following the program, we have to give for Kyoto Design Award 2014. An ecological design in Kyoto is to provide cultural awareness in an example to give such a hand broom with cultural value educational activities in Kyoto.

竹ぼうきを使った手ぼうきの作り方 How to make the hand broom

1. 竹ぼうきの材料の準備 (Preparation of bamboo broom materials)

2. 竹ぼうきの束ね (Bundling bamboo broom)

3. 竹ぼうきの乾燥 (Drying bamboo broom)

4. 竹ぼうきの節のそろえ (Aligning the joints of bamboo broom)

5. 竹ぼうきの末の切り取り (Cutting the ends of bamboo broom)

6. 竹ぼうきの完成 (Completion of bamboo broom)

7. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

8. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

9. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

10. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

11. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

12. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

13. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

14. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

15. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

16. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

17. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

18. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

19. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

20. 竹ぼうきの活用 (Use of bamboo broom)

世界竹会議で日本の手ぼうきを発表

2023 オープンガーデン情報

4月から5月にかけて、兵庫県下で開催されるオープンガーデンの情報をご案内します。また、ウェブサイト「ひょうごはなまち」にも掲載されていますのでご覧ください。

※令和5年3月初旬時点での情報です。詳細については、直接主催団体までお問い合わせください。個人連絡先については、花と緑のまちづくりセンター(P3下記記載)にお問い合わせください。



HP ホームページあり
IG インスタグラムあり

名称	地域	日程	主催・問い合わせ先
① 神戸オープンガーデン 2023	神戸市	4月14日(金)~16日(日) 5月 5日(金)~ 7日(日) 5月12日(金)~14日(日) 5月19日(金)~21日(日) 5月26日(金)~28日(日) 10時~17時内で、各庭による	神戸オープンガーデン実行委員会 (公財)神戸市公園緑化協会 緑花事業推進室気付 Tel 078-351-6756 Mail kobeopengarden@gmail.com HP IG
② 第18回 芦屋オープンガーデン	芦屋市	4月15日(土)~19日(水) 5月10日(水)~14日(日) 10時~16時	芦屋市都市建設部街路樹課 Tel 0797-38-2470 Fax 0797-38-2163 HP
③ 第22回 宝塚オープンガーデンフェスタ	宝塚市	4月22日(土)~24日(月) 5月19日(金)~21日(日) 10時~16時	あいあいパーク オープンガーデン担当 Tel 0797-89-5933 宝塚市役所農政課 Tel 0797-77-2036 HP IG
④ 第24回 三田グリーンネット チャリティオープンガーデン	三田市 神戸市北区 西宮市北部	5月20日(土)・21日(日) 9時~17時 5月27日(土)・28日(日) 9時~17時	三田グリーンネット ホームページ内お問い合わせ先参照 HP

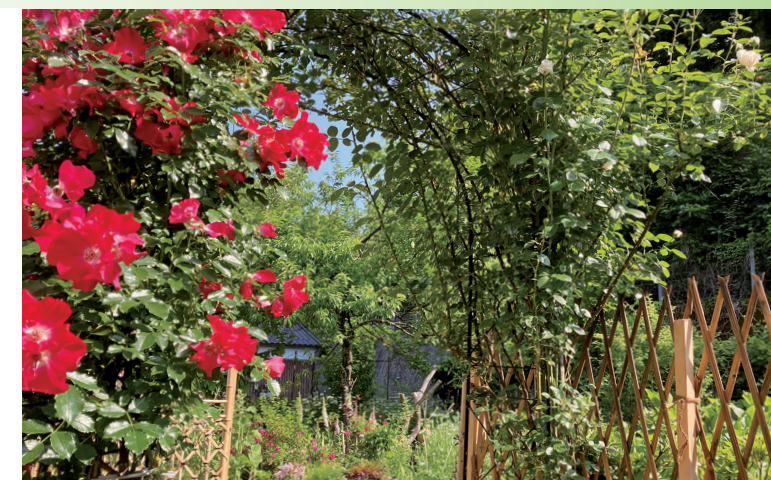
名称	地域	日程	主催・問い合わせ先
⑤ 鶉野中町花家族の会	加西市	5月19日(金)~21日(日) 10時~16時	団体代表 尾花 お問い合わせ：花と緑のまちづくりセンター Tel 078-918-2405
⑥ 多可オープンガーデン2023	多可町 西脇市	3月下旬~5月末まで ★庭主さんにより日時が異なります。	多可町観光交流協会事務局 Tel 0795-32-4779 [TAKA JOY] 検索 HP
⑦ オープンガーデン なかはりま2023	姫路市 神河町 市川町 福崎町	4月14日(金)~16日(日) 5月19日(金)~21日(日) 10時~16時	(一財)姫路市まちづくり振興機構 緑化推進部 Tel 079-291-1914
⑧ 野瀬の里オープンガーデン	相生市	4月30日(日) 9時~16時	お問い合わせ：花と緑のまちづくりセンター 078-918-2405
⑨ 2023 オープンガーデン in しんぐらう	たつの市新宮町	4月7日(金)~16日(日) 10時~16時	たつの市花と緑の協会新宮支部 Tel 0791-75-0251 Fax 0791-75-0264
⑩ あいほしみちばたオープンガーデン	豊岡市但東町	5月27日(土)・28日(日) 9時~17時	静暖の里 Tel 0796-53-4666
⑪ あさごオープンガーデン	朝来市	5月1日(月)~28日(日) 10時~16時 庭主さんにより日程が異なります	朝来市役所朝来支所 Tel 079-677-1165 Fax 079-677-1513 Mail asago-chiiki@city.asago.lg.jp
⑫ 佐津オープンガーデンフェスタ	香美町	4月16日(日)・17日(月) 9時~16時	お問い合わせ：花と緑のまちづくりセンター 078-918-2405
⑬ たんばオープンガーデン2023	丹波市 丹波篠山市	4月23日(日)・24日(月) 5月21日(日)・22日(月) 9時~12時、13時~17時	丹波の森 花くらぶ 代表 酒井 ホームページ内お問い合わせ先参照 HP

2023 オープンガーデン情報

事務局 078-918-2405
花と緑のまちづくりセンター



【ひょうごはなまち】検索



祝！「人間サイズのまちづくり賞」表彰

兵庫県では、県民の参画と協働による“人間サイズのまちづくり”を推進するため、平成11年度に「人間サイズのまちづくり賞」を創設し、安全・安心のまちづくり、魅力・挑戦のまちづくり及び持続・循環のまちづくりに寄与する優れたまちなみや建築物及び優れた功績のあった団体等を顕彰しています。この度、花緑部門で表彰されました1団体と2名をご紹介します。

宝塚栄町シニアクラブ 宝塚市

『栄町3丁目ゆめ公園』において、シニアクラブメンバーが主体となり自治会内の子ども達、そのお父さん、お母さん方と一緒に、植栽（樹木、草木、芝）の維持管理をしています。特に、夏の芝生の水やりには、子ども達も参加し、水鉄砲による遊びも取り入れ行っています。

植え込みの隙間に苗を植え、又、種をまき植物の成長を楽しんでいます。公園での作業を楽しみ、枯渇した芝生を再生し、年中子ども達が芝生の上で元気に遊べる公園に出来ればと思っています。

赤ちゃんから年配者までの幅広い年齢層での活動を通じた交流により、公園以外でも挨拶が活発に行われるようになりました。健康寿命を伸ばすことにも繋がればと思います。



児童たちとエアレーション



水あそびの様子



小学生が遠足で来訪



オープンガーデン時の花壇



地域の花壇



2鉢運動の玄関先

北林 加津代さん たつの市

花壇づくりは、20数年前、自宅の前の田んぼに花いっぱいのお庭を作ろうと主人と始めたことがきっかけです。

最初の5年ほどは春限定でしたが、後には年中楽しめる花壇に取り組むようになりました。その頃、たつの市や新宮町主催の写真コンテストやオープンガーデンが始まり、そこへの参加を通じて、近隣の方々や小学生の遠足会、介護施設の方々など多くの人たちに可愛がっていただける花壇となりました。

今後も、来訪者の笑顔とそこでの出会いを大切に、地域の景観形成に少しでも役立てればと思っています。手作り感いっぱいのささやかな花壇ですが、楽しみながら花づくりを続けたいと思っています。

太田 よしのさん 香美町

訓谷地域は、100軒程の小さな集落ですが、民宿が25軒以上もあります。山や海が近いだけでなく、カニや但馬牛も美味しく魅力ある観光地で、リピーターのお客さんが多いようです。

私は22年前に、主人のふる里であるこの地域に移住し、すぐに庭づくりと共に、地域の景観園芸に専念。

花好きの仲間達と試行錯誤し、現在の「2鉢運動」が始まりました。それは、となり近所の5軒で1グループを組み、各グループの世話人に手伝ってもらい、1年に2回、1軒当たり2鉢分の苗を配布し、道路近くに置いて育ててもらうものです。

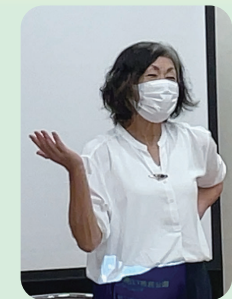
現在9グループ45軒が参加し、オープンガーデン時や民宿のお客さんの散策時等の癒やしになり、そして何よりも花のある地元の風景が、子供たちの記憶に残れば嬉しいと思います。

令和4年度花緑いっぱい運動推進員ワークショップ報告

年間6回県内の各地域で、緑化活動団体、また地域住民の交流を深め、花緑いっぱい運動の活性化と地域の魅力向上を図る目的で、ひょうごガーデンマイスターなどを講師として開催しています。（中・西播磨地域報告は61号、但馬地域報告は63号に掲載）当ワークショップでは、花緑活動による地域活性活動ボランティアに興味をお持ちの方のご参加をお待ちしています。また、加えて研修会を淡路地域にて実施しました。

神戸地域 門上 幸子 講師 フラワーセンター非常勤講師
6月24日(金) 神戸市垂水区 **舞子台ふれあい市民公園**

「法面を活かした花壇づくり」
午前中に、打ち合わせた植栽計画図に沿って公園の一角での植栽をしました。
午後には、植栽計画（デザイン）、植栽植物の特徴についての講義をしました。
明石海峡大橋を望む橋脚下の陰日向のある中でアクセントのある植栽です。



門上 講師



淡路地域 稲澤 範治 講師 ひょうごガーデンマイスター
10月16日(日) 南あわじ市善光寺 **南あわじ市役所本館前駐車場**

「住民のやすらぎを感じるバラ園づくり」
午前中は、土壌改良の重要性や植栽デザイン、植物の説明などを講義しました。
午後には、班分けして、作業分担を行い、植栽しました。
見晴らしの良い庁舎駐車場内に色彩が華やかに目立っています。



稲澤 講師



丹波地域 稲澤 範治 講師 ひょうごガーデンマイスター
10月21日(金) 丹波市氷上町 **中野花壇**

「丹波の秋を感じる花壇づくり」
午前中は、土壌改良の重要性や植栽デザイン、植物の説明などを講義しました。
午後は、道路に沿って法面下の花壇を植栽計画図に沿って植栽しました。
山あい道路沿いの花壇が、一つのビューポイントとなることと思います。



稲澤 講師



阪神南・北地域 前野 義博 講師 バラのコンシェルジュ
1月17日(火) 尼崎市南塚口町 **上坂部西公園**

「バラの冬剪定の方法 剪定枝を用いた挿し木（休眠挿し）の仕方」
資料を基に接木の生理を分かりやすく講義し、実演しました。
冬の剪定について参加者に実技指導を行いました。
屋外の寒い中での実技講習後は、ローズティーを楽しみ、質疑応答にも沢山質問がありました。



前野 講師



研修会

淡路地域 新保 奈穂美 講師 淡路景観園芸学校景観園芸専門員
1月20日(金) 洲本市塩屋 **洲本土木事務所**

「花と緑のまちづくりの今日的意義とは：次世代につなげる持続的な活動を目指して」
少子高齢化、共働き、経済の停滞、嗜好の変化を意識し、ニーズを掴んだ活動の変化が求められる。
現在は、農も取り入れた実益もある花緑活動が多数あり、その活動実績をもとに講義を受けました。



新保 講師



相談員ニュース

相談所長の独り言 (自然への崇拜・おもてなし・宿根草花壇コンペへの挑戦)

緑の相談所長 松永 龍児

好きなのは45年前の竹富島やウブドの路地。今の神戸や丹波篠山の街並みなどもいいですね。神社や寺院の入り口の雰囲気はずっと好きです。

2年前センターに来た時に決めたのは植物を通して「自然への崇拜」と「おもてなし」の心を表現しようと思っちょと独り言。

1. センター入り口などの植栽

お金をかけずに花手水を作って中庭や前花壇を手持ちの植物で少し手直ししました。今は、花手水を入りに5か所、明石駅と明石公園サービスセンターに各1か所作って、クスノキにはセッコク40種、風蘭数種、中庭にはアジサイ40種、ギボウシ40種、ツワブキ10種、寒葵やおもとの銘品を常時展示しています。冬にはクリスマスローズ等を展示するスペースを3か所設けています。室内も苔テラリウム10台、チランジア10種、多肉30種、洋蘭数種を常時展示しています。特に洋ランはJOGA入賞花の銘品を展示しています。また屋上にはロックガーデンを整備しています。

2. コンペへの挑戦 (東京ガーデンアワード2022代々木公園)

今回3名の関係者で挑戦してみました。52作品のうちの結果は以下の通り。

作品タイトル 八丈島と世界の出会い(グラス・カラーリーフを主体としたトリコカラーのトロピカルな蝶の舞う庭)

作品のテーマ 創作意図

島固有のサクユリ、アジサイ‘八丈チドリ’、斑入り月桃、ウコン、明日葉など白を基調にしたゾーンの左右に黄色と赤のグラスやカラーリーフを配置したトリコロールカラーの花壇。四季折々楽しめ、蝶の舞う常に動きがある庭。

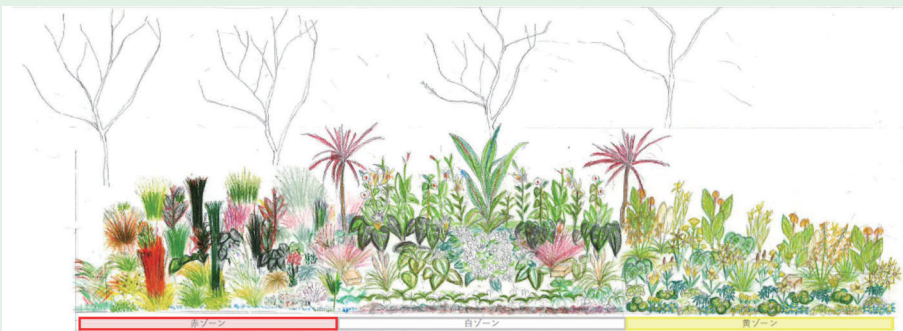
- 春は、スノードロップ、スイセン、ランタンキュラス、‘ラックス’ アマリリス、カラー、クリスマスローズの花々が、ギボウシの芽出しの前に咲きほこる。
●初夏はグラス類が風に吹かれ、エキナセアやゲラニウムが咲きはじめる。
●夏はアジサイ、ギボウシやアスチルベの花に加えグラスも生えそろう、後ろにはトロピカルなカンナ、クルクマ、ウコンのカラーリーフが花をつけ合間にサクユリやタイタンピカスの大きな花が目を引き最高の季節となる。
●秋には爽やかに揺れるグラスの間のオミナエシ、フジバカマ、ホトトギスツワブキ等の花に蝶が舞う。
●冬も1.5mのコルディリネがトロピカル感を漂わせ、グラスや斑入りヤブラン、斑入りツワブキの後ろにクリスマスローズ、水仙、スノードロップが花を咲かせだす。

審査員名：吉谷桂子

作品は「八丈島と世界の出会い」というユニークな内容で、温暖化の進む環境を考えると「未来の庭に向けて必要な庭の基本要素4ヶ条」

- 1. 自然な雰囲気 (Natural appearance) 2. 手入れが楽 (Maintenance-friendly) 3. 生物多様性 (Biodiversity)
4. 耐久性と長寿 (Durability & Longevity) という条件においても実現可能な植物が選ばれ、基本のコンセプトがユニークなだけに、植栽デザインの要素が引き算で整理され、植物構成がさらに構築的になるともっと良かったです。

審査員一同、断腸の思いの判断となりましたが、今後もエコロジストとガーデンデザイナー、視点の両方においてのさらなるご活躍を期待しています。



植物を扱っている人には自分で考える力をつけ、気になっていた草花を入れすぎているということやなかなか理解してもらえなかったのを、審査員の指摘はちょうどよい機会になったと思います。

入賞した作品は下記のURLもしくはQRコードで見ることが出来ますので参考にしてください。

入賞作品: https://www.tokyo-park.or.jp/special/kadan_contest/



応募作品: https://www.hyogohanamachi.jp/aboutus/pdf/64_P6_2.pdf



相談員ニュース

バラのお話<冬>

緑の相談員 花元 仁

【冬の剪定と施肥】

HT、Fなどの冬の剪定の時期が来ました。ツルバラは12月初旬から始めて終了し、次にHT、Fなどの木立系の仮剪定を行い、本剪定に入ります。

バラ園などでも、若手は仮剪定を行いますが、ベテランは仮剪定を行わず、いきなり本剪定に入ります。一年に一度だけの剪定ですから、わからなくても当然で、筆者もよく悩みました。高さや形、残す本数を見習って覚えていくのが無難です。

剪定後には、腰が痛くなる施肥が待っています。ここで手を抜くと成長が半減するので頑張って下さい。

【冬は切る】

よく相談を受けることですが、冬剪定は、思い切って高さ1/2程度まで切り落とし、枝を5本程度残します(弱っている株は弱剪定)。残す枝は、ベーサルシュートが一番。二番は、二年目の枝から今年に出たサイドシュートです。これで5本程度残すわけです。枝の年数の見分け方は、品種に違いはありますが、古い枝は、トゲも茎も白っぽくなっている事が多く木質化しています。水分が抜け化学物質リグニンが師管から分泌され、茎が固くなり木質化します。そうすると、サイドシュートが出にくくなるのです。

根元、又は根元付近からのシュートを出す事が、バラの株を長く若く育てるコツです。

※梅雨明けに、ヨウリンを表土に一掴み撒くと、シュートが出やすいです。



** 園芸相談コーナー **
10:00~12:00 13:00~16:00
火曜日を除く毎日
TEL 078 (918) 2405
FAX 078 (919) 5186
MAIL info_midori@hyogopark.com

写真や実物をご持参いただきますと、お話ししやすくなります。

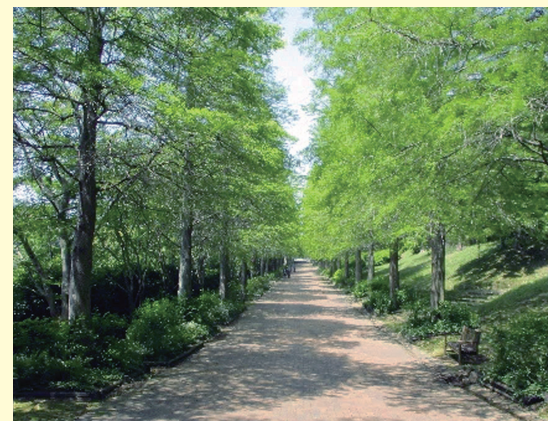


緑のパトロールニュース〔北播磨編〕

「木づくり」「木づかい」

北播磨の中央部、加東市滝野に県下で有名な播磨中央公園があります。緑深い丘や大小の池が散在する自然豊かな公園です。

令和2年に完成したサイクルステーションをはじめ、各種運動施設、さいくるらんど、子どもの小川、子どもの森、ばら園などのある四季の庭、桜の園などの施設が整い、文化、スポーツ、レクリエーション等で県内・県外を問わず多くの方々に親しまれ、今ではSNS映えに、第3駐車場に掛かる虹の橋がよく用いられます。



なかでも、播磨中央公園のボランティア団体、八チドリのが主体となって県民まちなみ緑化事業を取り入れたファンタジーロードは、来訪者を魅了しています。調和した大中小の樹木が、みごとな通り抜けを演出しています。

まさに「木づくり」「木づかい」が成された絶好のビューポイントです。近くには温浴施設もあり、運動後に汗を流しに来られる方が多いです。

ぜひ一度、播磨中央公園に緑や活力を求めに来られてはいかがでしょうか。

北播磨地域 緑のパトロール隊員 山本 健造



令和5年4月～6月

実施日	タイトル	講師名	定員 【名】	受講料 【円】	受付 開始日
4/ 8 土 午後	誰もが楽しめるランの魅力	花と緑のまちづくりセンター 緑の相談所長 松永 龍児	20	100	3/15
4/16 日 午後	ガーデンデザイン ① ～植栽の平面図とイラストの描き方～	ガーデンデザイン研究家 中山 正範	20	100	3/15
4/30 日 午前	◆ 明石公園の自然観察 ①	明石公園の自然に親しむ会 代表 兼光 たか子	20	100	4/1
5/14 日 午後	アロマで夏の虫対策	ジャパンハーブソサイエティ 上級インストラクター 松尾 あや子	20	1,100	4/15
5/26 金 午後	庭木の手入れ ① ～低木 (ツツジ・サツキ他) の刈込・整枝～	(株) あすか園芸舎 代表取締役 大西 進	20	100	5/1
5/28 日 午後	◆ 薬になる木・草を学ぶ〈春〉	(一社) 明石市薬剤師会 高橋 宏和	20	600	5/1
6/ 4 日 午前	明石公園の樹木を観察しよう ① ～葉の観察～	花と緑のまちづくりセンター 樹木医 山中 正宏	20	100	5/15
6/18 日 午後	多肉植物の寄せ植え	園芸研究家 田上 義信	20	2,500	5/15
6/23 金 午後	夏の風物詩！つりしのぶづくり	つりしのぶ園 園主 市原 誠	20	3,100	6/1

花緑はかせへチャレンジ!!

◆印は小学生以上が対象です。対象の教室を5回以上参加した小中学生には、「花緑はかせ」の認定証を進呈します。



★★お申し込み・お問い合わせ★★ 花と緑のまちづくりセンター

TEL 078-918-2405

受付時間は、9時から17時迄です

お申込み開始日より先着順 ※電話のみの受付

ホームページ「ひょうごはなまち」
以外にも、ボランティアさん
の花手水作品などを
Instagramからも
配信しています。
是非ご覧ください！



HYOGOHANAMACHI



開催場所
花と緑のまちづくりセンター 研修室



花と緑のまちづくりセンターだより 64号

- 令和5年3月14日(年4回発行)
- 編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 福田 稔
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター
TEL: 078(918)2405 FAX: 078(919)5186 Eメール: info_midori@hyogopark.com